



## ご卒業おめでとうございます

新型コロナウイルス感染防止対策のため、3月2日から学校は臨時休業の措置をとっております。保護者や地域の皆様には、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。そのような中、3月13日、卒業生、保護者、教職員のみのお出席により、第127回卒業証書授与式を挙げてまいりました。例年とは全く違い、最大限の感染予防対策を講じての式となりましたが、卒業生は立派な姿で臨み、希望を胸に豊小を巣立っていきました。一人一人がそれぞれの良さに自信をもち、新たな環境でまた一つ新しい自分を見つけてほしいと願っています。



## スクールプランに基づく学校評価の結果をお知らせします



本誌6月号でもお知らせしましたが、本校では、スクールプランを目指す児童像『考える子』『助け合う子』『たくましい子』の育成」と「家庭・地域との連携」の四つの柱で目標を立て、それぞれの具体的取組13項目を掲げて教育活動を行って参りました。年度末に当たり、それぞれ児童、保護者、教職員の3者によるアンケート調査結果を総合して、達成度を図りました。すべての項目のアンケートの結果と、主な成果・課題と次年度に向けた改善策は以下のとおりです。現在、この結果を基に、新年度のスクールプラン作成に向けた準備を進めているところです。保護者の皆様には、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

4 地域の人や本、新聞やニュース等から、社会事象や問題に関心をもち、向き合おうとする態度を育てる。	
【児童】新聞やテレビなどでほぼ毎日ニュースを見ている。	81.1%
学校や家でよく本（漫画・雑誌を除く）を読んでいる。	73.4%
【保護者】お子さまは、新聞やニュースを見たり、聞いたりして社会への関心をもっている。	50.7%
【教職員】新聞やニュースを見たり、聞いたりして社会への関心をもつように指導することができた。	74.0%



**分析** 低、中学年ではニュースで話題になっていることを朝の会で取り上げたり、新聞を読んで気になったことを日記に書かせたり、スピーチさせたりしている。高学年では社会科で取り扱ったり、自主学習でニュースに出ていることについて詳しく調べさせたりしている。しかし、家庭で新聞やニュースを見たり聞いたりしてはいないのではないかと思われる。読書については、「読み聞かせ」で本に興味をもたせたり、本バッグを机の横にかけておき、いつでも読書ができるようにしているが、特に高学年になると64.2%と低くなっている。

**対策** 新聞やニュースなどへの関心を高めるため、保護者にも働きかけていっしょに取り組む必要がある。新聞を購読していない家庭も増えてきていることから、教員が積極的に新聞を活用することで児童の関心を高めたい。読書は、今年度取り組んだ「親子読書」や「週末読書」など、家庭でも本に親しむ時間を作り、自ら本に手を伸ばす子の育成に力を入れたい。



10 将来の夢や目標をもち、その実現に向けて努力しようとする意欲や態度を育てる。	
【児童】将来の夢や目指す目標をもっている。	86.5%
【保護者】お子さまは、将来の夢や目指す目標について家族とよく話す。	63.7%
【教職員】本校は、児童が夢や目標をもち、その実現に向けて努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	92.6%

**分析** 学校では、地域に出かけて地域のいろいろな職業の方と触れ合ったり、ゲストティーチャーを招いて「夢と希望」をテーマにした授業を行ったりしている。今年度は、クラブ活動や総合的な学習の時間などで、121名の地域の方と触れ合っている。その成果が、夢や目標をもつ児童が86.5%という数字に出ている。残念なのは、そのことに関して家族との会話が少ないことである。「家の人に学校で学習したことをよく話す」児童が76.0%にとどまっていることから、日頃から学校で指導を充実させていることについて家庭と情報が共有されていないことがうかがえる。

**対策** 次年度は、この項目を重点項目とし、保護者にボランティアとして学習に参加してもらったり、学校からの情報をメディアやホームページ等で積極的に発信したりして、学習内容や児童の成長の様子を伝えていきたい。次年度、福井県教育委員会から道徳教育総合推進事業「親子で学ぶ道徳講座」を委託されており、その中で「希望と勇気、努力と強い意志」をテーマに事業を展開したいと考えている。